

ねんかんだい30の主日^{しゅじつ}

きょうのふくいん マタイ22・34～40

みなさまおげんきですか。せんしゅうのはなしのなかで、ひとをほめましょう、ということをおぼえていますか。おもいだして、ひとをほめることができたでしょうか。ひとをほめることができたとき、じぶんもうれしいきもちになりましたでしょう。

マタイ 22・34～40

そのとき、ファリサイはのひとびとは、イエスがサドカイはのひとびとをいいこめられたときいて、いっしょにあつまつた。そのうちのひとり、りっぼうのせんもんかが、イエスをためそうとしてたずねた。「せんせい、りっぼうのなかで、どのおきてがもっともじゅうようでしょうか。」イエスはいわれた。「「こころをつきし、せいしんをつくし、おもいをつくして、あなたのかみであるしゅをあいなさい。」これがもっともじゅうような、だいいちのおきてである。だいにも、これとおなじようにじゅうようである。「りんじんをじぶんのようにあいしない。」りっぼうぜんたいとよげんしゃは、このふたつのおきてにもとづいている。」

きょうのふくいんしよでは、せんしゅうとおなじようにイエスさまをためすしつもんをせいしよのせんもんかがしました。「りっぼうのなかでどのおきてがだいじですか」そのとき、イエスさまがせんしゅうとおなじようにピツタリとしたこたえをなさいました。「からだぜんたいでかみさまをあいし、かみさまのためにはたらきなさい」とそしてもうひとつだいじなおきてがありますといいました。「りんじんをじぶんのようにあいしなさい」と

わたしたちはイエスさまをとおして、かみさまからあいされていることを、まいにちのできごとのなかにして、かんじています。じぶんとおなじように、りんじんであるまわりのひとたちも、もちろんかみさまからあいされています。

じぶんのようというのは「あいてのたちばにたつて」おもいやり、やさしく、たすけあい、ゆるしあうことです。それは、かみさまをあいすることになります。

まいにち、かみさまからあいされていることをおもいだしながら、まわりのひとをだいじにすることをじっこうしながら、かみさまのあいのわをひろげようと、イエスさまはのぞんでおられます。

かみさまはいま、こころにかけているたくさんのひとがいます。そのひとたちをわたしたちにまかせています。「じぶんができることをして、たすけてあげてください」といわれているようなきがします。

どんなことができるのでしょうか。かんがえてみましょうね。じぶんにはなにができるのでしょうか。せんしゅうとつづけて、まわりのひとをほめることは、とてもたいせつなことです。。。

おしらせ

11月8日と11日、それぞれのごミサのすぐあとに「七五三」のしゅくふくがあります。じぶんのちくのみサのときに、せひきてくださいね。

12月25日クリスマスの子どものミサは ごこの2じからです。